



報道機関各位

宮崎県日南大島でソフトコーラルの新種発見
牛の第3胃である葉状胃（センマイ）にちなみ『センマイチヂミウミアザミ』と命名

ポイント

- 宮崎県日南大島周辺で、ソフトコーラルのチヂミウミアザミ属の新種を発見
- これまで確認されたことのない骨片を持ち、その表面が牛の第3胃である葉状胃（センマイ）に似ていることと、発見した宮崎県が宮崎牛の産地であることにちなみ、その新種にセンマイチヂミウミアザミと命名

【概要】

黒潮生物研究所の古井戸 樹（宮崎大学農学工学研究科修了）、今原幸光氏、宮崎大学農学部の深見裕伸教授の研究グループは、宮崎県日南市の日南大島周辺に生息するソフトコーラルを採集し、分子系統学および形態分類学的な調査を行った。その結果、そのソフトコーラルはチヂミウミアザミ属 *Sympodium* の新種であることが判明した。

この新種は、体の骨片が他のチヂミウミアザミ属の種とは大きく異なる特徴を持っており、その骨片の表面が牛の第3胃である葉状胃（センマイ）に似ていること、また、標本が採集された宮崎県が宮崎牛の産地であることから、この新種を *Sympodium omasum* として記載し、センマイチヂミウミアザミと命名した。



図1. センマイチヂミウミアザミ *Sympodium omasum*。岩を覆い、そこから沢山のポリプを伸ばしている。宮崎県日南市築島周辺で撮影。水深 -15 m

背景

宮崎県日南市日南大島周辺の海域は、造礁性イシサンゴ類(硬い骨格を持つ)に加え、非常に多くのソフトコーラル(硬い骨格を持たない代わりに、1mm以下の微小な骨片を多数持つ)も生息しています。特に、ソフトコーラルの仲間であるウミアザミ科が多く生息しており、大群落を形成しています。これまでの研究では、日南大島は、世界で4番目にウミアザミ科の種の多様性が高く、日本で最も種多様性が高い場所であることがわかっています。

しかも、この日南大島周辺のウミアザミ科には、まだ名前のついていない種も多くみられることも分かってきました。そこで、古井戸 樹が中心となり、ウミアザミ属の種の実態を解明するため、分子系統学的解析と電子顕微鏡を用いた詳細な形態観察を行いました。

成果

本研究の結果、我々の研究グループはチヂミウミアザミ属の新種(図1)を記載するに至りました。この種は分子系統学的にチヂミウミアザミ属に含まれ、形態的にはチヂミウミアザミ属全般に特徴的な小板型の骨片に加えて、両端が膨らむ双頭の骨片を持っていました(図2)。また、小板状の骨片は、これまで確認されたことのない結晶構造をしており、その表面は牛の第3胃である葉状胃に似た円錐状の突起を沢山持っていました。また、標本が採集された宮崎県は宮崎牛の産地であることから、この新種を牛の第3胃である葉状胃(センマイ: Omasum)にちなんで *Sympodium omasum* として記載し、センマイチヂミウミアザミと命名しました。

展望

今回の研究成果は、宮崎県の日南大島周辺海域のソフトコーラルの種多様性がさらに高いことを証明するものでした。しかも、まだ名前のついていない種も複数いることが分かっているため、今後、さらに新種として報告されるものが増加すると想定されます。また、ソフトコーラルは増殖速度が速い種が多く、サンゴ群集のパイオニア的役割を担っているため、今後の環境保全を考えていく上で、どのような種が生息しているか明らかにしていくことが重要だと言えます。

本研究成果は、2024年4月22日に国際学術雑誌「Zootaxa」のオンライン版で公開中。

<https://www.mapress.com/zt/article/view/zootaxa.5443.2.3>

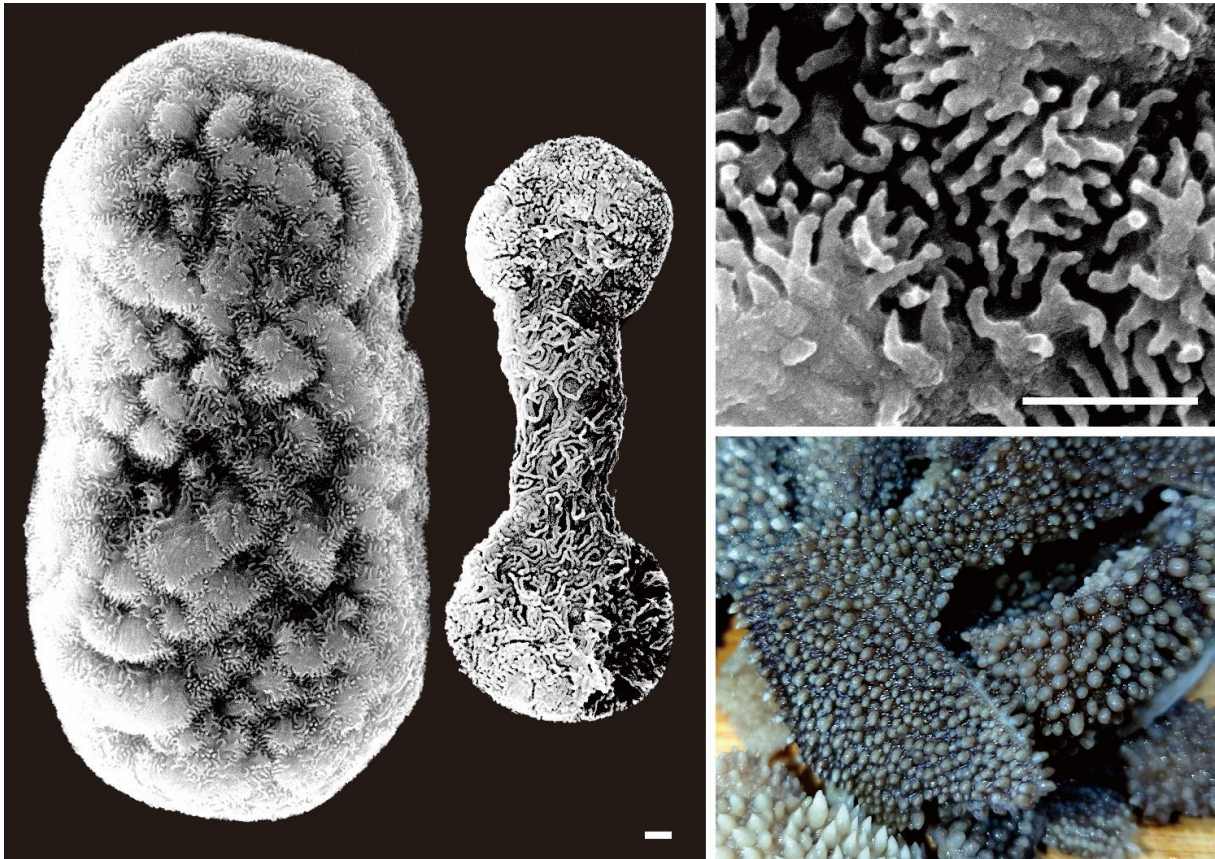


図 2. センマイチヂミウミアザミ *Sympodium omasum* の骨片の電子顕微鏡写真。左が小板型と双頭の 2 種類の骨片、右上がセンマイチヂミウミアザミに特異的な骨片の表面構造。右下は牛の第 3 胃である葉状胃（センマイ）。スケールは 1 μm

【論文情報】

Koido T, Imahara Y, Fukami H (2024) A new species of *Sympodium* (Octocorallia, Xeniidae) from Miyazaki, Japan. *Zootaxa* 5443 (2): 186–204. <https://www.mapress.com/zt/article/view/zootaxa.5443.2.3>

【取材に関する問合せ先】

国立大学法人宮崎大学 企画総務部総務広報課

TEL : 0985-58-7114 e-mail : kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

公益財団法人黒潮生物研究所

TEL : 0880-62-7077 e-mail : t.koido@kuroshio.or.jp

【研究に関する問合せ先】

国立大学法人宮崎大学 農学部海洋生物環境学科 教授 深見裕伸

TEL : 0985-58-7221 e-mail : hirofukami@cc.miyazaki-u.ac.jp

公益財団法人黒潮生物研究所 研究員 古井戸 樹

TEL : 0880-62-7077 e-mail : t.koido@kuroshio.or.jp

今原幸光

TEL : 090-8982-5230 e-mail : imaharay@k.email.ne.jp